



いたこ
潮来市

平成25年5月発行

第149号

議会だより

発行責任者：議会議長 内田 正一
編集者：広報編集委員会
〒311-2493 茨城県潮来市辻 626
TEL 0299-63-1111
FAX 0299-80-1100
E-mail: gikai@city.itako.lg.jp

平成25年第1回潮来市議会定例会

◎定例会報告…………… 2～5	◎研修報告…………… 15
◎一般質問…………… 6～14	◎議会を傍聴して…………… 16

水郷潮来ソーラー発電所 新設工事起工式（4月18日）



完成イメージ

水郷潮来ソーラー発電所

- ◎事業者 (株)水郷潮来ソーラー（特定目的会社）
- ◎面積 約18万㎡（道の駅いたこ隣接地）
- ◎発電量 年間1,470万kWh
（一般家庭4,500世帯の年間電力量に相当）
- ◎運転開始 平成26年3月（予定）



平成25年度予算

総額319億円

(前年度比96億円増・43%増)

一般会計

235億2,400万円

(前年度比92億7,000万円増・65%増)

平成25年度は、一般会計予算が前年度比92億7,000万円増で過去最大の予算となりました。しかし、災害復旧関連と復興交付金事業を除く予算額は111億円で前年度比1億円減となり、大変厳しい予算編成となりました。

会計名	金額	前年度比
国民健康保険特別会計	38億8,194万円	(2.3%増)
下水道事業特別会計	14億2,977万円	(0.4%増)
農業集落排水事業特別会計	5,517万円	(4.1%増)
介護保険特別会計	18億6,911万円	(6.3%増)
後期高齢者医療特別会計	2億2,003万円	(2.9%増)
水道事業会計	9億1,256万円	(1.1%減)

3月 定例会

平成25年3月定例会は、3月5日から22日まで開催されました。平成25年度予算、震災復旧関連の補正予算、条例等の制定、改正など39件を審議し、すべて原案のとおり可決いたしました。また9人の議員が市政一般の通告質問を行いました。

一般会計歳入内訳			一般会計歳出内訳		
	金額	前年度比較増減		金額	前年度比較増減
市税	28億7,086万円	△1億2,950万円	総務費	10億5,569万円	△2,439万円
地方譲与税	1億7,820万円	△938万円	民生費	35億8,674万円	△6,035万円
地方消費税交付金	2億5,139万円	△1,323万円	衛生費	13億3,112万円	1億7,755万円
地方交付税	63億2,451万円	21億7,336万円	農林水産費	3億415万円	△1,172万円
分担金・負担金	2億3,195万円	△983万円	商工費	1億5,195万円	△6,792万円
使用料・手数料	1億8,151万円	△45万円	土木費	131億8,599万円	120億8,186万円
国庫支出金	15億3,083万円	△14億5,177万円	消防費	5億8,562万円	1,648万円
県支出金	7億677万円	△1億2,849万円	教育費	13億9,451万円	△4億6,392万円
繰入金	96億1,685万円	92億974万円	公債費	13億1,315万円	△2,135万円
繰越金	2億円	増減なし	議会費	1億3,708万円	△283万円
市債	11億4,812万円	△6億2,529万円	災害復旧費	4億7,300万円	△24億7,511万円
その他	2億8,308万円	△9,500万円	予備費	500万円	増減なし

平成25年度の主な事業



■教育

- ・日の出小中学校環境整備
- ・外国語・ICT教育の充実
- ・適応指導教室等の教育相談体制の強化
- ・ボート競技等各種スポーツ環境の整備

■保険・医療・福祉

- ・生活習慣病予防健診・特定健診の無料化
- ・ウォーキングの普及・健康フェスタ開催
- ・子育て支援体制の充実
- ・市単独マル福制度の継続
- ・高齢者生きがいづくり、各種事業の開催



■土地利用・基盤整備

- ・災害復旧道路橋りょう等整備
- ・日の出地区液化化対策事業
- ・前川運動公園整備事業
- ・日の出地区上下水道復旧工事



■生活環境政策

- ・公共下水道整備、高度処理型浄化槽設置促進
- ・ごみ処理広域化の推進
- ・各地区集会所の改修支援
- ・防災知識の普及・啓発活動
- ・田の森浄水場急速ろ過池改造工事



■産業振興

- ・農業用施設災害復旧事業
- ・担い手農家育成・農地の集積
- ・「潮来あやめちゃん」・「一番星（ひたち29号）」のPR及び販売促進
- ・あやめまつりの充実・あやめ園整備
- ・潮来インター周辺企業誘致の継続

3月定例会議決結果

提出された議案等はすべて原案のとおり可決されました

新しい条例を制定

◎潮来市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

国の新型インフルエンザ対策特別措置法の制定に伴い潮来市の対策本部に関し必要事項を定めたもの

◎潮来市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定

県からの権限移譲により、市の許可制になることから墓地等の設置場所、構造設備の基準等必要事項を定めたもの

◎潮来市道路構造等に関する条例の制定について

市道を新設し、又は改築する場合における市道の構造の技術的基準等を国の法令等を参照して定めるもの

◎潮来市道路の移動等円滑化に関する条例の制定について

高齢者、障害者等に対するバリアフリーのため市道の構造等に関する基準を国の法令等を参照して定めるもの

◎潮来市特定公園施設の移動等円滑化に関する条例の制定について

高齢者、障害者等に対するバリアフリーのため特定公園施設内の構造等に関する基準を国の法令等を参照して定めるもの

条例の一部改正

◎潮来市駐車場条例の一部改正

市営あやめ駐車場、市営浅間下西駐車場について、利用目的の改正により廃止するもの

◎潮来市道路占用料徴収条例の一部改正

市道路施設に太陽光発電施設及び風力発電施設を設置した場合の占用料を定めるもの

◎潮来市市営住宅条例の一部改正

公営住宅法の一部改正に伴い、市営住宅の整備基準や入居者の収入等の基準を新たに定めるもの

◎潮来市都市公園条例の一部改正

都市公園法の一部改正に伴い、公園の配置及び規模に関する技術的基準を定める規定を新たに定めたもの

行政委員会委員の任命同意

◎潮来市教育委員会委員の任命…任期満了に伴う委員1名の任命に同意

○仲澤秀子(牛堀・再任)

◎潮来市固定資産評価審査委員会委員の任命…任期満了に伴う委員2名の任命に同意

○関正一(上戸・新任) ○柳田清(延方・新任)

主な補正予算(歳出)

○復興交付金積立金（専決処分）	104億5,014万円
○日の出地区幹線道路液状化対策事業費（専決処分）	3億6,750万円
○財政調整基金積立金	3億7,190万円
○市内小中学校改修工事	2億4,770万円
○公園施設災害復旧工事	2,400万円
○道路改良工事費	7,200万円

議案に対する賛否結果

◎専決処分の承認について（一般会計補正予算 109 億 8,213 万円追加）

討論の後、賛成多数で承認

○反対討論（原浩道議員）

- ・議会を開いても事業が遅れることはない
- ・議会を開く時間は十分にあるはず
- ・専決処分は補充的手段としての権限である
- ・109億円の補正予算を専決している

○賛成討論（後藤博子議員）

- ・付託委員会において承認している。
- ・委員会で十分な説明と議論がなされている
- ・市長の責任において1日でも早い復興ため専決処分されている

議員名	採決	議員名	採決
後藤 博子	賛成	大平 幸一	賛成
村山 正光	賛成	薄井 征記	賛成
原 浩道	反対	根本 又男	賛成
田崎 清	賛成	今泉 利拓	反対
沼里真一郎	反対	小沼 英明	賛成
笠間 丈夫	欠席	藤崎 忠徳	賛成
柚木 巖	賛成	杉本 俊一	賛成
吉川 俊	反対	粟飯原治雄	賛成
橋本きくい	賛成	賛成12・反対4	

※専決処分とは

議会権限での議決事項について、地方自治法に基づき、議決前に首長の責任で決めること。専決処分した事項は次の議会で報告し承認を求めるが、承認されなくても効力に影響はないため慎重な運用が求められる

◎潮来市農業委員会委員の議会推薦について

起立採決の結果、賛成多数で可決

潮来市農業委員 1 名を議会から推薦

推薦者 大久保高明（潮来）

（推薦発議 今泉 利拓 議員）

議員名	採決	議員名	採決
後藤 博子	反対	大平 幸一	賛成
村山 正光	賛成	薄井 征記	賛成
原 浩道	賛成	根本 又男	賛成
田崎 清	反対	今泉 利拓	賛成
沼里真一郎	賛成	小沼 英明	賛成
笠間 丈夫	賛成	藤崎 忠徳	賛成
柚木 巖	賛成	杉本 俊一	賛成
吉川 俊	賛成	粟飯原治雄	賛成
橋本きくい	賛成	賛成15・反対2	

Q1. 通学路の安全対策について

質問 国の予算に「防災安全交付金」として1兆6千億円が計上され、自治体が実施する「国民の命と暮らしを守るインフラ再構築」に役立つ事業に限定して国が支援し、通学路の安全対策にも使える。

答 本市の通学路緊急合同点検の取り組みと点検結果を伺う。

答 学校とPTAに各学区内の危険箇所を抽出してもらい、これをもとに通学路の緊急合同点検として必要箇所の実地点検、対策等を協議しました。その結果、各小学校区全体で18力所の危険箇所が抽出され、道路沿線の除草などの実施が6力所、道路標示などの予定が8力所、対策未定が4力所となっております。

質問 通学路の歩道設置など危険個所の対策結果を伺う。



答 道路建設課長 潮来小、延方小

付近の通学路面の安全表示を早急に実施し、日の出小付近の横断歩道も早急に進めます。また、牛堀小付近の通学路の安全表示を2力所実施します。それ以外についても調査検討を行います。

質問 通学時間帯の車の進入制限や速度制限など、今後の対策を伺う。

答 道路建設課長 通行規制等は、公安の関係機関に要請等をしていきたいと思っております。

答 教育長 新学期には学区内の危険箇所等の点検を行い、子供たちの安全確保に努めてまいります。

Q2. 小児医療費助成の拡充について

質問 市では手厚い子育て支援があるが、更なる推進と定住対策からも、早急な拡充に対しての考えと今後の方針を伺う。

答 市民福祉課長 現在マル福の市単独事業として、小学校3年生までの所得制限の撤廃、中学校3年生までの入院助成を実施しています。今後は、県及び周辺市町村の動向、また市の財政状況を見据えて研究を重ねてまいります。

質問 小学校卒業までマル福対象を拡充した場合の財政負担額を伺う。

答 市民福祉課長 小学校6年生まで拡充した場合の市の財政負担は約1,300万円です。

Q3. リース方式による公共施設へのLED照明の導入について

質問 電力消費の多い我が国では、省エネ対策として公共施設へのLED（発光ダイオード）照明の導入は積極的に検討すべき課題と言える。LED照明は、リース方式により、初期費用の抑制と新たな予算措置の軽減を図り、節電とコストダウンが期待できる。これからの低炭素社会へ向けて、積極的な推進を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 環境課長 LED照明は、コストパフォーマンスに優れ、電気が蛍光灯の約半分、寿命が約4倍ということですが機器の値段が高く、初期投資が多くなります。低炭素社会に向けての重要な手法の一つですので、前向きな考え方で検討していきたいと思っております。

Q4. 期日前投票の宣誓書について

という問い合わせがある。市のホームページから取り出しての記入はできないか伺う。

質問 現在、宣誓書の記入は投票所で行っているが、お年寄りの中には、投票所での記入は緊張するから、自宅で書いて持参するようにできないか、

答 総務課長 本人確認や不正投票などを考え、投票所においての記載をお願いしています。宣誓書をホームページからダウンロードしての期日前投票については、今後前向きに検討してまいります。

Q1. 日の出地区の道路復旧・復興工事と液状化対策について

質問 市道1級12号線は市道1級13号線と交わる交差点より南側、1級13号線全部の電柱類地中化、併せて市道1級12号線、1級13号線、1級14号線の地下水低下工法による液状化対策の今後の具体的な計画と完成時期を伺う。

答 道路建設課長
現在、地下水低下ドレーン、雨水幹線排水路、電線地中化などの設計を進めています。1級12号線、1級14号線の早期発注、1級13号線は復旧工事と液状化対策工事を同時に発注し効率的に進めます。また電線地中化は東電、NTT等と協議し、設計が完了次第、発注します。工事については平成27年度中の完成を目指しています。

質問 日の出地区の懸案事項の雨水対策も改善されるのか伺う。

答 道路建設課長
液状化対策事業で雨水排水路を道路中央に整備し、地下水の排水ポンプ場も整備いたします。

質問 生活道路としての歩道の整備計画について伺う。

答 道路建設課長
歩道下の雨水排水路を車道に新設した後で歩道工事を行います。その間、市民の皆様には安全な迂回路での通行をお願いいたします。

質問 2丁目と4丁目にわたる幹線道路の歩道が大変危険な状態ですが見解を伺う。

答 道路建設課長
歩道下の雨水排水路が盛り上がり大変危険な状態ですので、安全な迂回路での通行をお願いしてまいります。

質問 日の出地区の都市防災推進事業、市街地液状化対策事業の具体的な計画を伺う。

答 秘書政策課長
日の出地区液状化対策事業については、潮来市液状化対策検討委員会において、液状化対策の最適な工法として地下水低下工法に決定しました。今後、各地区ごとに説明会などを行い、あわせて戸別訪問により地権者等の3分の2以上の同意をいただき、早期の事業着手を目指します。震災復興計画の復興期間の最終年度は平成29年度ですが、平成27年度内の工事完了を目指します。

質問 同意を取りつけた街区から着工する意向と聞いているが、基準を伺う。

答 秘書政策課長
市街地液状化対策事業の補助要件として事業計画区域の面積が3,000平米以上、かつ区域内の家屋が10軒以上となっています。この区画ごとに同意を取りつけ、工事に移る予定です。



Q2. 防災について

答 総務課長
第1次避難所の集会所へは、テント、救急箱、担架、消火器等を配備しています。市役所に発電機や夜間照明等を整備しましたので、要

質問 各地区の災害避難所の防災備蓄の現状と対策について伺う。

答 総務課長
現在66地区の自治会が自主防災組織を運営しており、震災以降、組織の役割が一層大切になっています。各自治会の特性に応じた組織づくりと自主防災組織の育成につながる支援を図ってまいります。

質問 各地区の自主防災組織の現状と今後の組織編成について伺う。

答 総務課長
本市の防災訓練は、地震を想定し、基本的に市民が同一行動をとる内容です。今後は、各地区の特性を重視し、きめ細かい防災訓練のための支援方法を検討します。

質問 市防災訓練の現状と今後のあり方について伺う。

答 総務課長
地震を想定し、基本的に市民が同一行動をとる内容です。今後は、各地区の特性を重視し、きめ細かい防災訓練のための支援方法を検討します。

その他の質問
◎耐震性貯水槽について
◎牛堀地区市道2級3号線について

質問 各地区の災害避難所の防災備蓄の現状と対策について伺う。

答 総務課長
現在66地区の自治会が自主防災組織を運営しており、震災以降、組織の役割が一層大切になっています。各自治会の特性に応じた組織づくりと自主防災組織の育成につながる支援を図ってまいります。

質問 防災器材の周知の方法を伺う。

答 総務課長
広報いたこやホームページで周知しています。避難所に間仕切りを設けてほしいが、今後の避難所開設の対応を伺う。

質問 初期救護活動等、今後女性の取り込みは考えているか伺う。

答 総務課長
震災時には、救護活動などの運営を担っていただきました。今後も防災訓練等への参加をお願いしてまいります。

Q1. 体罰・いじめ 問題について

質問 本市においての体罰の
実態、方策を伺う。

答 教育次長

茨城県教育委員会から
体罰に関する調査があり、本市で
は各学校で調査した結果、体罰は
なかったと報告を受けています。
本市は、小・中学校が10校とい
う規模ですので、教職員一人一人へ
の周知徹底が図られています。

各学校では、教員が子供たち一
人一人へ温かく接し、相互の信頼
関係を高めていく教育を推進し、
未然防止に努めています。

質問 いじめ問題への対策の
効用、効果を伺う。

答 教育次長

各学校ではいじめ根絶
を目指し、子供たちの様子をきめ
細かに観察し、早期発見、早期対
応に努めています。いじめの実態
調査では、毎月5件ほどの認知件
数がありますが、少しずつ減って
きています。実態調査により、い
じめの兆候を積極的に発見し、速
やかに対応できる効果を上げてい
ます。

Q2. 艇庫あめんぼからのボート 搬入について

質問 潮来市が国体のボート競技の会場として選定された。
艇庫前の堤防の整備についての考えを伺う。

答

中央公民館長

平成31年に茨城県で開催される国民体育大会では、潮
来市がボート競技及びトライアスロン競技の会場として選定さ
れました。堤防を含め、現状の施設で十分開催が可能であると
考えていますが、県と連携を図りながら、施設の整備計画等の
検討を進めてまいります。

質問 スポーツ少年団や中学生等のボート運搬に際しての道
路横断等の安全対策を伺います。

答

中央公民館長

ボートを常陸利根川へ運搬する際には、横断中と書か
れた表示板を設置し、同伴する指導者等へ注意喚起を促すな
ど、安全対策を行うよう努めています。

Q3. 学校施設の トイレについて

質問 今の子供たちは和式トイレが苦手
と聞くが、学校の状況を伺う。

答

教育次長

学校全体の割合では、和式トイレ
が61%、洋式トイレが39%です。全体のバ
ランスを考慮した上で洋式トイレへの改修
を行ってまいります。

震災時などは仮設トイレも使いますの
で、緊急事態にも備えるためにも、和式と
洋式を使えるように指導していきます。

Q4. 水郷いたこ大使 あやめについて

質問 ゆるキャラグランプリで全国20
位、県内で1位となったあやめ。今
後のさらなる利活用の考えを伺う。

答

秘書政策課長

今後も市内外のイベントに積極的
に参加し、潮来の認知度向上、PRに努めま
す。また、関連グッズを増やし、より親し
みを持てるキャラクターに育て、観光商品の
増加や郷土への愛着につなげていきます。

質問

ストラップ等のグッズが販売され
ているが、クリアファイルやぬい
ぐるみ等の開発、販売の予定を伺う。

答

秘書政策課長

今後、クリアファイル等も含め観
光客のお土産や市民が使用できるグッズの作
成を考えていきます。また道の駅いたこにお
いて、あやめの縫いぐるみのキーホルダー、
手のひらサイ
ズの縫いぐる
みの作成を計
画していま
す。



copyright © 2010 KIZUJ / itako city office
All Rights Reserved.

その他の質問

◎ 県道神栖・水戸線の安全対策に
ついて

◎ 市道川尾・古高線について

Q1. 北浦の水について

質問 過去5年間の北浦のCODの数値はどうなっているか。全国の湖沼の中で北浦の汚染度の順位はどうなっているか伺う。

答 環境課長
平成19年度9.5mg/ℓ、平成20年度9.3mg/ℓ、平成21年度10.0mg/ℓ、平成22年度9.1mg/ℓ、平成23年度8.0 mg/ℓです。北浦の汚染度の順位は平成19年度ワースト2位、平成20年度ワースト2位、平成21年度は宮城県の伊豆沼と同じワースト1位です。平成22年度がワースト4位、平成23年度はワースト5位までには入っていません。

質問 平成23年度の北浦のCOD数値は9.1mg/ℓ。全国の湖沼の中で、汚染度ワースト5位以内に入っ

ていない。しかし、市内の常陸利根川はCODが9.2mg/ℓ、ワースト5位になっている。北浦がきれいになっているとは言えないのではないかと環境省の担当者から説明があった。

平成25年度、市では北浦を含む市内の河川の水質浄化に向けて、どういう対策で取り組んでいかれるのか伺う。

答 環境課長
広報紙やホームページを活用した啓発活動や家庭排水浄化推進協議会等の諸団体による石けんづくりやキャンペーン活動などを展開していきます。また高度処理型浄化槽の普及促進、下水道への加入促進などを進め、周辺市とも連携を図りながら水質浄化に取り組んでまいります。



いと考えております。
ながら、地元の方への説明
事業化に向けた協議を行い
の都市計画課、下水道課と
引き続き茨城県
上下水道課長

答

上下水道課長

引き続き茨城県

いくのか伺う。

ような内容の協議を進めて

質問

平成25年度はど
ういう機関とどの

Q2. 水原地区
の公下水
道事業
について

Q3. 国道51号バイパスと東関道潮来・銚田間の工事関係について

質問 延方小泉地区に向けた国道51号バイパス工事は本工事として始まっているのか。東関道関係の工事は現在どのような状況か伺う。

答 建設部長
延方地区の信号機から小泉地区の51号までの区間については、東関東自動車道路と国道51号線の併走区間です。現在、工事用仮設道路の建設中で、本工事に入っていません。本工事については現時点では未定とのことです。

質問 延方小泉地区の国道51号から上、牛堀麻生方面に向けて国道51号バイパス工事で東関道工事を進めるための用地交渉の状況と用地買収はいつごろから始まる予定なのか伺う。

答 建設部長
国道51号潮来バイパスから牛堀上戸までの区間4.7キロメートルはまだ事業化されておらず、用地交渉はされていません。

東関東自動車道は銚田までの約31キロメートルの区間で現在三市一斉に用地測量等に入り各地権者の立ち会いが随時行われています。

用地買収は、国道51号バイパスについては未定で、東関東自動車道は、平成25年から約3年間をめどに用地買収に入っていくと聞いております。



- その他の質問
- ◎前川かわまちづくりについて
 - ◎町議員OBの叙勲授与の条件について
 - ◎市長の専決処分について



し合い等の場を提供できるところ努めてまいります。

Q1. 男女共同参画について

質問

10年前からの国の方針で女性の社会参画を決められ、農村漁村の女性を対象として農林省が農村を守る政策として取り入れたものです。男性社会の中で、今日まで20年近く女性の会合をもってやってまいりました。勉強会が15年以上、女性議会が6回等の勉強会をしても、それに対するアドバイスが余りなかった。このたび、市では2名の女性農業委員が誕生しました。男女共同参画の新しい仕組みを確かめるため、話し合いの場をつくっていただくことを提案し、市の考えを伺う。

答

総務課長

女性が個人の能力と個性を十分に生かすことができる社会づくりを目指すためには、女性の声を地域に反映させる仕組みをつくることが重要ですので、行政運営全般を通して、話し合い等の場を提供できるところ努めてまいります。

Q2. 霞ヶ浦導水問題について

質問

私どもは、10年前より飲料水として北浦の水の汚染について、鹿行の女性団体を通して県や国に陳情してきました。1万5,000人の署名を持って県と国に申し入れをしました。知事との話し合いで導水の通過する巴川のところから北浦に流していただくよう要望してきました。近く環境経済部会において改めて勉強する機会をつくりたいと思いますが、市の考えを伺う。

答

環境課長

専門の環境経済部会で勉強会を開催することは、大変よいことだと思います。霞ヶ浦導水事業によって霞ヶ浦の水質がどうなるのか、また完成したときに霞ヶ浦流域の市民としてのかかわり方などについて提言いただければと思います。



Q3. 日の出地区の液状化対策について

質問

ある業者が私に意見を求めてきました。液状化の家の修理に大変な費用がかかり、一般家庭に負担させるのに困ってしまいました。機械を買ってやって各個人に払わせるのは困るので、現場を見てもらいたいとのことで、関係者にも見てもらいたい。行政の方々も現場を見ていただいて、よい知恵がありましたら出していただけるよう市の考えを伺う。

答

建設部長

市民の方においては、大変苦しい状況の中で生活をされていることと思います。各家屋の修理等につきましては、ご相談いただければ県の建設会等に連絡を取り、対応させていただきます。これまで被災された方々に対しては、数々の支援等を進めてきており、継続している事業等もありますので、ご活用いただければと思います。

Q1. 安全な1次避難所を

質問 各地区集会所①復旧状況は②耐震補強工事助成を③各種災害時1次避難マニュアル作成を。④井戸設置時助成を

答 総務課長
 ①震災復旧は、平成24年度に42カ所の集会所をほぼ完了しており、25年度は、2カ所を復旧予定です。
 ②集会所は各区が所有管理する施設ですので、耐震調査や補強工事は、市では行っておりませんが、安全性等

についての相談には応じてまいります。

③避難マニュアルは、防災訓練等の効果等検証しながら作成を検討いたします。

④井戸設置については、水質等緊急時の安全確保が困難であり補助は考えておりません。災害時における飲料水は、市内5カ所に耐震性飲料水兼貯水槽を整備して対応してまいります。

③消防団は、地域の中核として災害から地域の住民の生命、財産を守る組織ですので、報酬目当てで入団している部員はいないです。
 ④操法大会は消防団員の技能向上を図る事業として毎年実施していますが、本部役員会議等へ報告いたします。



③消防団は、地域の中核として災害から地域の住民の生命、財産を守る組織ですので、報酬目当てで入団している部員はいないです。
 ④操法大会は消防団員の技能向上を図る事業として毎年実施していますが、本部役員会議等へ報告いたします。

Q2. 消防団員確保について

質問 私も議員前から現役団員です。市が災害対応のためにも求める各消防団の部の定数から欠員の部が多い。今、欠員で普段の活動に支障が出ないように現団員の負担は大きい。現役団員はなかなか辞められず、なり手も少なくなる悪循環だ。分団長や部長後に残る人まで出てきた。
 ①各部定数から欠員のある部はいくつか。
 ②団員勧誘へ市の手助けは。
 ③本人でなく部へ入る報酬増は。
 ④操法大会を半分ずつ隔年へ割り振りは。

答 総務課
 ①本市消防団全体では現在600名の団員がおり、全体的に見るとほぼ定数を満たしている状況で欠員はありません。
 ②消防団は本人の意思で行うものであり、市が入団の勧誘をすることはできません。
 ③消防団は、地域の中核として災害から地域の住民の生命、財産を守る組織ですので、報酬目当てで入団している部員はいないです。
 ④操法大会は消防団員の技能向上を図る事業として毎年実施していますが、本部役員会議等へ報告いたします。

Q4. 異例の国保特会繰り上げ充用

質問 昨年、当市は国民健康保険特別会計の決算で繰り上げ充用を行った。繰り上げ充用は翌年度の収入から前年度赤字の穴埋めをする事で限度がある。当市の様に繰り上げ充用の選択は珍しい。国保税の値上げをしない為にも他自治体の様に一般会計から繰り入るべきでは。

答 保険年金課長
 特別会計は、独立採算

が原則です。国保特別会計も被保険者の保険税、国・県の交付金や補助金で運営することが望ましいと考えます。
 一般会計の法定外繰り入れも選択肢の一つですが、本市では市民の健康づくりに努め、国保会計の健全化のため、国保税の収納向上対策、療養給付費の減少に向け最善を尽くしてまいります。

Q3. 議員へ企業誘致説明無し、人的配置答弁無し、議会軽視

質問 昨年10月の市政重要案件の協定書締結は報道で知った。説明は一般質問答弁のみ。メガソーラーは本年3月着工予定で2月正式契約を目指していた。

- ①契約の説明を。
- ②人的配置にすら答弁が無くなった。4月からも学校の用務員職へ異例の正職員配置を行うのか。

答 企業誘致推進室長
 ①市の契約と民有地の契約があり、まだ市の契約はしておりません。交渉中の段階ですので、詳細はお答えできません。

答 市長
 ②職員人事については市長専権事項であります。人事の質問は、議員の人事介入、地位利用にもつながります。議会軽視ではなく市長の権限の中で仕事をしております。

その他の質問
 ◎人口流出を防ぎ、子育て支援福祉教育等で人口増加策を
 ◎観光や地産地消や6次産業化へ米粉推進を
 ◎聖域は難しいTPPの当市への影響について

Q2. メガソーラーについて

質問 稼働までの進捗状況を伺う。

答 企業誘致推進室長

工事着工は4月からとなり、約9カ月の工期を経て平成25年度内に稼働予定と聞いています。

質問 土地管理組合の活動状況を伺う。

答 企業誘致推進室長

設立総会において、組合所有地の運用について審議し、メガソーラー事業者への土地の賃貸等を決定しました。



答 副市長
蓄電池産業を初めとする先端産業等今後成長する産業について、引き続き情報収集を行い、企業誘致できるよう努めてまいります。

質問 25年度の誘致活動の進め方について伺う。

答 企業誘致推進室長
ダイレクトメールや案内パンフレットでのPRや企業動向アンケート調査等を実施しています。

質問 今後伸びる業種の中で蓄電池企業があるが、誘致活動を実施しているか伺う。

答 企業誘致推進室長
今後は伸びる業種の中で蓄電池企業があるが、誘致活動を実施しているか伺う。

質問 アイモア隣駐車場の進捗について伺う。

答 企業誘致推進室長
問い合わせが数件ありますが、具体的な提案には至っていません。引き続き誘致活動を行ってまいります。

質問 インターチェンジ周辺はどのような業者に絞って誘致活動を進めているか伺う。

答 企業誘致推進室長
インターチェンジ周辺はどのような業者に絞って誘致活動を進めているか伺う。

Q4. 防災について

質問 避難訓練で、車いすやアイマスク等、実践的な訓練が必要と思うが、今後の方針を伺う。

答 総務課長

リヤカーや担架を使つての搬送などの実践的な訓練を実施しています。今後自主防災組織とさらなる連携に努めてまいります。

質問 潮来小学校と潮来二中の耐震性飲料水兼用貯水槽の緊急時の対応を伺う。

答 総務課長

災害時には上下水道課の職員が仮設の給水栓を設置します。地元消防団や自主防災組織との円滑な運用に向け周知等に努めてまいります。

Q1. 塵芥処理事業について

質問 各地区の集積所に出した塵芥で収集できないものはどのぐらいあるか伺う。

答 環境課長

分別されてないもの、市で収集できないものは原則収集しません。数はごくわずかです。

質問 収集できない塵芥の対応策を伺う。

答 環境課長

違反シールを張り、再度分別し直していただきます。

質問 分別の指導はどのようにしているか伺う。

答 環境課長

分別等が不十分なものは、違反シールを張り、再度分別し直していただきます。

Q3. 企業誘致について

質問 インターチェンジ周辺はどのような業者に絞って誘致活動を進めているか伺う。

答 企業誘致推進室長
インターチェンジ周辺はどのような業者に絞って誘致活動を進めているか伺う。

質問 鹿行5市で、ごみ袋の値の格差がある場合、今後の対応策を伺う。

答 環境課長
鹿行5市で、ごみ袋の値の格差がある場合、今後の対応策を伺う。

質問 袋の値段は、多少の差はありますが、ごみ分別による経費削減を考慮すれば価格は適正であると思います。現在、潮来市、銚田市、行方市で一般廃棄物の広域処理に向け準備しており、分別収集形態等について協議していき

質問 アイモア隣駐車場の進捗について伺う。

答 企業誘致推進室長
問い合わせが数件ありますが、具体的な提案には至っていません。引き続き誘致活動を行ってまいります。

質問 インターチェンジ周辺はどのような業者に絞って誘致活動を進めているか伺う。

答 企業誘致推進室長
インターチェンジ周辺はどのような業者に絞って誘致活動を進めているか伺う。

質問 蓄電池企業があるが、誘致活動を実施しているか伺う。

答 企業誘致推進室長
ダイレクトメールや案内パンフレットでのPRや企業動向アンケート調査等を実施しています。

質問 25年度の誘致活動の進め方について伺う。

答 副市長
蓄電池産業を初めとする先端産業等今後成長する産業について、引き続き情報収集を行い、企業誘致できるよう努めてまいります。

Q 1. 日の出地区の復旧・復興について

質問

東日本大震災から2年が経過。日の出地区の早期復旧・復興は多くの市民が願っている。

宅地と公共用地の一体的な整備による個人の負担の解決策、道路復旧と液状化対策の同時進行による予算の縮小幅、短縮される工期と復旧・復興計画の見直し、土地所有者に対するQ & Aの発行状況を伺う。

答

秘書政策課長

3月10日、日の出地区液状化対策事業報告会でお示したとおりでございます。道路事業として復旧・復興工事を同時施工することで無駄がないことを復興庁と協議をしましたので金額はわかりません。復興交付金ですので削減額は交付されません。

期間については、おおよそ1年の短縮です。見直しはいたしません。Q & Aについては、作成中でございます。



答
総務課長
現在条例は策定しておりません。本市においては支援が必要であれば相談に応じていきたいと考えています。被害者支援については、犯罪被害者等基本法に基づき給付制度がありますので、この制度により対応してまいります。

質問
米領グアムで発生した無差別殺傷事件。犯罪被害者等基本法は、国及び地方公共団体の基本施策に給付金の支給制度の充実等を掲げる。市の救済方策と支援条例の制定について市長の見解を伺う。

Q2. 犯罪被害者等の救済について

Q 3. 公会計の改革について

質問

市の会計は、単式簿記・現金主義会計。

歳入歳出を示すだけの予算決算から、黒字か赤字か、負債の動向、コスト計算等を知ることは困難。民間企業と同様の複式簿記・発生主義会計の導入を。市長の見解を伺う。

答

人事財政課長

複式簿記・発生主義会計の導入については、現時点では考えておりません。

全国の自治体では東京都の導入事例がありますが、9割以上が潮来市と同様の対応となっており、費用対効果を考慮しているものと考えております。

導入については費用負担が大きく、行財政改革、簡素で効率的な身の丈に合った行政運営についてご理解いただきたいと思います。

Q 4. 市職員の給与について

質問

国はラスパイレス指数が100超の自治体に100となるよう求め、給与カットで浮く

予算は、地域活性化と防災・減災に充当。市職員の過去3年間のラスパイレス指数と職員の給与について市長の見解を伺う。

答

人事財政課長

ラスパイレス指数については平成22年度は98.3、平成23年度は98.2、平成24年度は106.9となっております。当市は被災地であり、給与の減額改定についても適切に対処する方針であります。

その他の質問

- ◎大塚野隧道の整備と台上戸地内の市道改良工事について
- ◎「介護支援ボランティア制度」の導入について
- ◎東京五輪・パラリンピックの招致について

環境経済建設委員会視察研修報告

(平成25年2月14日・15日 福島県いわき市)

いわき市は、東日本大震災により最大3.3mという大津波と原子力災害による被害を受け、死者441名、建物被害90,502棟という甚大な被害でした。また、市独自の判断で福島第一原発から30km圏内の住民に自主避難を要請し、高い放射能の徐染作業にも苦勞をされているとのことでした。

現在、日本の復興を「いわき」から「の合言葉のもと、総事業費2,861億円という巨額の復興計画により、平成27年度を目標に公営住宅の整備、徐染の実施、土地区画整理、農水産物の風評被害対策等さまざまな復興対策に取り組んでいる。

さらに、原発周辺自治体から約2万4千人がいわき市内へ避難され、人口が急激に増加したことによる様々な問題が発生しているとのことであったが、これだけの避難者を受け入れてきたいわき市の姿勢は大いに評価されるべきものであり、今後も他市町村との連携を強化し復興を進めながら、原子力に依存しない町づくりを目指していくとのことであった。

美空ひばりの歌にある塩屋崎の薄磯地区の被災地では、中学校の校庭に津波等による災害方レキが集積されたままとなっている。津波被害の大きさに改めて驚くとともに、一日でも早い復興を願うばかりであった。

潮来市においても、市民の皆様のご理解・ご協力のもと、行政と議会とが一体となって一日でも早い復旧・復興に向け全力で取り組んでまいります。



潮来市議会議員研修会を開催

去る3月28日に、全国市議会議長会法制参事、鈴木拓也氏を講師に招き、地方自治法の改正及び議会運営に関する研修会を開催しました。

今回の自治法改正により、通年議会や本会議での公聴会等の開催が可能となり、また臨時会の招集権が条件付きで議長にも付与されたことなど、議会に直接関連する事項を具体的に説明いただきました。

また、議会運営に関して、議案質疑と一般質問の違いや専決処分の内容等についても質疑応答を交えながら解説をいただきました。

理解を深めることができました。議会は政策を論議し執行機関を監視するため住民の立場で自由に発言することができ、議会の効率化と秩序保持のため、法や規則を遵守し、簡潔明瞭な発言が議員には求められます。円滑な議会運営のためには議員一人一人が同じ認識を持つことが大切であると感じました。

今後も我々議員は、市政のみならず、頻繁に改正される法律や国の動向なども注視しながら、市民の付託に応えるため、研修を重ね努力してまいります。

議会の動き

1月

5日	新春賀詞交歓会	関係議員
10日	明日の茨城づくり新春のつどい	関係議員
13日	新成人のつどい	関係議員
14日	消防出初式	関係議員
15日	社会福祉大会実行委員会	関係議員
18日	潮来市民生児童委員懇親会	副議長
22日	茨城県日中友好協会	副議長
23日	茨城県市議会議長会定例会	議長
23日	広報編集委員会	
24日	潮来市農業委員会懇親会	議長
24日	防衛懇話会	副議長
26日	潮来市社会福祉大会	関係議員
28日	茨城県後期高齢者医療広域連合議会	議長
29日	潮来市高齢者クラブ懇親会	議長

2月

1日	潮来市悠々発表会	議長
1日	茨城南部工業協同組合懇親会	議長
2日	シルバー人材センター芸能祭	議長
4日	広報編集委員会	
4日	潮来市農業委員会初総会	
13日	北方領土返還要求県民大会	議長
17日	潮来市身体障害者福祉協議会	所管委員長
18日	議会運営委員会	
18日	全員協議会	
19日	全国市議会議長会産業経済委員会	議長
20日	悠々塾開講式	議長

3月

20日	総務委員会協議会	
20日	潮来市大規模稲作研究会	関係議員
21日	潮来市防災会議	議長
21日	環境経済建設委員会協議会	
21日	国民健康保険運営協議会	議長
21日	教育福祉委員会協議会	
22日	潮来お祭りフェスタ	関係議員
24日	潮来市社会福祉協議会理事会	関係議員
25日	鹿行広域事務組合	関係議員
27日	全員協議会	
27日	買ってもらえる米づくり研修会	関係議員
28日	議会運営委員会	
2日	潮来幼稚園竣工式	関係議員
3日	潮来市春の健康フェスタ	関係議員
5日	議会定例会初日	
11日	議会運営委員会	
12日	市立中学校卒業式	関係議員
12日	議会定例会 2日目	
13日	総務委員会	
13日	環境経済建設委員会	
15日	教育福祉委員会	
17日	潮来小学校竣工式	関係議員
17日	育成園NPO恵松会設立式典	関係議員
18日	議会定例会 一般質問	
19日	議会定例会 一般質問	
21日	市立小学校卒業式	関係議員
22日	議会定例会最終日	
24日	下町会館竣工式	関係議員
25日	潮来市社会福祉協議会協議会	関係議員
27日	潮来市防災会議	議長
28日	潮来市議会研修会	議長
28日	潮来市議会総会	議長

議会を傍聴して

登坂 友紀（平成25年度潮来市新規採用職員）

今まで市議会を傍聴したことがなく、初めての市議会に少し緊張して臨みました。これまでの議会のイメージといえば厳格で固いという印象で、具体的にどんなことが行われているかも知りませんでした。傍聴してみると思っていたよりも明るい雰囲気、市長をはじめ、職員と市議会議員の方が市民や市のために真剣に話し合っているのだと知ることができました。

議会では災害復興、企業誘致、観光など潮来市をより活性化させるためのことが多く話し合われていました。特に災害からの復旧・復興、防災についての内容が多く、東日本大震災から二年が経過し、人々の記憶が風化しつつある中でも市議会では引き続き話し合いがなされ、対策を講じてくれているのだと知りました。また、現在でも復興に向けてまだまだ多くの課題があるのだと再認識しました。

議会中何度か議員の方が「市民から相談を受けた」、「〜という市民の声を聞いた」という話をされていて、一般市民の声が議会で話し合われ、市政の運営に影響を与えているということを知り、非常に感動し、嬉しくなりました。議会は、これからも市民の生の声が届くような風通しの良い場であってほしいと強く感じました。

議会の流れは、市議会議員の方の質問に市長や職員が答えるという形でしたが、質問する方にも質問に答える方にもさまざまな知識が求められ、多くのことに精通していなければならず、潮来市のことはもちろん、他の自治体の現状についても理解しておく必要があるのだと感じました。4月からは潮来市職員として、市がどのような課題に直面し、どのような解決策があるのかを考え、行動し、市のため市民の皆様のために全力を尽くしたいと思います。

議会傍聴へ

お越しく下さい



次回定例会は

6月4日(火) 開会予定です

議会インターネット放送を実施しています

本会議の様子をインターネットでご覧いただけます（生放送・録画放送）。

潮来市議会ホームページからご覧ください。



編集後記

国はTPP交渉参加の交渉をしている。TPPは多国間交渉なので聖域は難しい。医療等の市民生活と共に農業を中心に地方経済への大きな影響が心配される。アベノミクスも通貨の価値が暴落するインフレやバブルの不安面もある。政治課題は山積している。

道の駅周辺でのメガソーラーが地権者と契約に至り起工された。国の太陽光発電パネル産業は海外に押されている。日本の産業発展のために水郷潮来ソーラーの太陽光パネルは国産を利用する事を期待する。

またネット選挙が解禁される見込みだ。若者を中心により多くの人が政治に関心を持ち、何も変わらないと政治へあきらめずに、一人でも多くの人が一票を投じる助けになる事を期待する。

我々市議会議員も襟を正して普段から活発に活動し、今何が行われているのか現状と対策や政策を市民の皆様にお伝えし、皆様の生活を守り良くしていく助けになれる様、やりに頑張ります。

(沼里真一郎)

議会広報編集委員会

委員長 田崎 清
副委員長 村山 正光
委員 橋本きくい
吉川 俊



沼里真一郎
後藤 博子